

令和5年度バイオマス産業都市選定委員会の概要

1. 開催日 令和6年1月23日（火）

2. 開催場所 農林水産省統計部第1会議室（3階 北314号室）

3. 出席者

【選定委員】

芋生 憲司	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
酒井 伸一	公益財団法人京都高度技術研究所 副所長
坂西 欣也	国立研究開発法人産業技術総合研究所 イノベーション人材部 シニアマネージャー
竹ヶ原 啓介	株式会社日本政策投資銀行 設備投資研究所 所長
塚本 修	一般財団法人カーボンフロンティア機構 理事長（座長）
野村 充伸	株式会社フソウ 取締役会長

【関係府省】

内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

4. 概要

【要旨】

バイオマス産業都市選定委員会を開催し、4つの視点（①先導性、②実現可能性、③地域波及効果、④実施体制）を中心に、応募のあった市町村についてヒアリング及び評価を行った結果、2町（山形県西川町、熊本県南小国町）を選定委員会の推薦案とすることに決定。ただし、うち1町については推薦にあたり条件がついたことから、条件となった事項への各町からの回答を以てバイオマス活用推進会議へ推薦することとなった。

【総合評価】

各町とも、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸としたまち・むらづくりを目指す構想となっている。条件とした事項を整理するとともに、コメントとして付した事項に留意しつつ取り組んでいただきたい。

（1）山形県西川町

条件：

- ①事業の実現性を担保する十分な実施体制を構築すること
- ②事業の実施に先立ち、定量的な事業評価を行い、十分なフォローアップを行うこと

（2）熊本県南小国町

コメント：

- ①事業の実施に先立ち、定量的な事業評価を行い、十分なフォローアップを行うこと
- ②世界農業遺産であり、有名な黒川温泉がある本地域がバイオマス産業都市となることは、波及効果が大きいことから、関係者が十分に連携して取組みを進めることが望まれる